



大食協発（検）第SS-0805508号

平成20年6月6日

検査成績書

依頼者 : 喜多薬品工業（株）殿

検体名 : サイプレスクリア

検査目的 : 殺菌効果試験

平成20年5月7日付けで当協会に依頼された検査の結果は別紙の通りです。

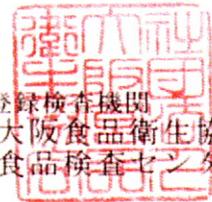
厚生労働大臣登録検査機関
社団法人 大阪食品衛生協会
食品検査センター

〒551-0002

大阪市大正区三軒家東2-11-13

TEL (06) 6554-7450

FAX (06) 6551-3829





No.S S - 0 8 0 5 5 0 8 - 1

1. 検体名：サイプレスクリア

2. 検査目的：検体原液の真菌に対する殺菌効果試験（菌数測定）

3. 試験方法

- 1) 試験菌株：① *Saccharomyces cerevisiae* IFO 10217（サッカロミセス酵母）
② *Aspergillus niger* IFO 6341（クロコウジカビ）
③ *Penicillium citrinum* NBRC 6352（アオカビ）
④ *Mucor racemosus* NBRC 6745（ケカビ）
⑤ *Rhizopus oryzae* NBRC 31005（クモノスカビ）

2) 試験菌液

前記の各試験菌株をPDA培地で25℃10日間培養した後、形成された胞子を0.05% Tween80加生理食塩水に懸濁させ、それぞれの試験菌株の胞子数が概ね 10^7 /mlとなるよう調製し、試験菌液とした。

3) 試験試料

試験菌株ごとに滅菌試験管を用意し、検体の原液10mlずつを入れ、試験試料とした。なお、対照試料として滅菌精製水10mlずつを同様に用いた。

4) 測定用培地：GPLP培地、GPLPA培地、7%食塩加GPLPA培地

5) 測定方法

上記3)の試験試料を恒温水槽に入れて25℃に保ち、上記2)の試験菌液0.1mlずつを接種混合した。60秒間作用させたのち、直ちにGPLP培地で10倍段階希釈を行い、サッカロミセス酵母、クロコウジカビ及びアオカビはGPLPA培地を、ケカビ及びクモノスカビは7%食塩加GPLPA培地を用いた混釈平板培養法により25℃で3～5日間培養を行い、試験菌の生残菌数を測定した。また、同時に対照試料について、試験菌液接種直後及び60秒後の生残菌数を同様に測定した。

本成績を他に掲載するときは当センターの承認を受けてください。

(社) 大阪食品衛生協会食品検査センター





4. 試験結果：試料液1ml当たりの生残菌数

試験菌	試料区分	生菌数	
		接種直後*	60秒後
サッカロミセス酵母	対照	1.3×10^5	1.2×10^5
	検体	1.3×10^5	<100
クロコウジカビ	対照	1.1×10^5	1.1×10^5
	検体	1.1×10^5	<100
アオカビ	対照	2.7×10^5	2.3×10^5
	検体	2.7×10^5	<100
ケカビ	対照	2.8×10^5	1.9×10^5
	検体	2.8×10^5	<100
クモノスカビ	対照	3.3×10^5	3.1×10^5
	検体	3.3×10^5	<100

*：試験菌液接種直後の対照試料の菌数を測定し、接種菌数とした。

以上

本成績を他に掲載するときは当センターの承認を受けてください。

(社) 大阪食品衛生協会食品検査センター

